

## 総務常任委員会行政視察概要

平成30年7月19日（木）

於 大垣市議会 第1委員会室

午前9時55分～午前11時40分

- 1 調査概要・説明…………… 大垣市市制100周年記念事業推進室長  
大垣市市制100周年記念事業推進室主幹



### 「市制施行100周年記念事業について」

平成31年に明石市が市制施行100周年を迎える中、平成30年に市制施行100周年を迎えた大垣市の取り組みについて視察を行った。

「未来を創る夢事業（最先端ロボット技術の紹介）」「地域資源を生かした事業（伝統的な祭り）」「文化・芸術・スポーツに親しむ事業（スポーツ地方興行の誘致）」「祝祭感を創造し、市民が主役となる事業（ギネス記録へ挑戦）」「市民提案事業・高校生提案事業」などをテーマとして100の事業に取り組んでいる。

### 2 主な質疑応答

問 市制施行100周年である平成30年度に100の記念事業を実施しているが、新規事業と既存事業の内訳は。

答 新規事業は45（予算 約3億円）、既存事業は55（予算 約1億円）となってい

る。新規事業のうち、当市の推進施策であるロボット関連については、今後も継続していく見込みである。また、既存事業についても単に冠を付けたイベントはなく、従来よりも規模を拡充している。

問 記念事業での特徴的な取り組みは。

答 「市民提案事業・高校生提案事業」である。これは、記念すべき節目の年である100周年と市民とともに盛り上げていくために、市内の市民団体やボランティア団体から記念事業の企画提案を募集し、優れた提案のあった団体に運営委託を行うというものである。40件という多数の応募があり、うち21件を採択した。市民が主体となり、全市をあげて祝祭感を創出できたことは非常に良かったと考える。また、市民団体やボランティア団体の育成に効果があり、将来にわたって良い影響があったと思われる。

問 100周年の前年であった平成29年度で、特に取り組まれたことは。

答 翌年が100周年であること知ってもらうことを目標に取り組んだ。週末に開催されているイベントに市職員が出向き、卓上黒板にお祝いの言葉を書いてもらいSNSに投稿するといった「みんな大好きおおがきPR」や「1万人のお祝いメッセージ」に取り組んだ。

問 大垣市への愛着を深めることができた実感しているか。

答 ギネス記録の挑戦など各種イベントを通じて、全ての年代に参加しやすい環境作りに配慮し、SNSで大垣市のことを全国に発信できたと考える。今後は、地域経済分析システム（RESAS リーサス）を用いて、観光客数の増減や人口移動などの把握を行いたい。

問 イベント開催にあたり、障害者に配慮している点はあるか。

答 障害のある人にも安心して来てもらえるように、運営スタッフが積極的に声かけや付き添いをするようにしている。

以 上